

【テーマ】
3-活動の発展性を高めるための取組
(2) 情報発信

宇城市 小川まちかど編集部 (現：一般社団法人 kite)

登録有形文化財の「風の館塩屋」の運営危機から、管理者に代わって「風の館塩屋」を紹介するパンフレットや案内板を製作。現在は新たな管理者として、古民家という施設の特長を活かした体験型の交流機会を創出し、地域と連携しながら事業を展開しています。

【採択年度】
R2 年度

地域の課題と活動をはじめた動機

古くからの宿場町で伝統的な町屋が点在する宇城市小川町の「小川商店街」では、高齢化が進み、シャッター街となっていたこと、また、商店街内のコミュニティ拠点である「風の館塩屋」の維持・管理が危惧される状況でした。

そこで、当時の管理者である「風の会」の運営サポートを行うことにしました。

活動（事業）内容

- 情報発信のために「風の館塩屋」の登録有形文化財を紹介するパンフレット（日英2カ国語表記）と案内板を製作しました。
- 交流機会を創出するために町屋の大掃除やピザづくり体験会等のイベントを実施しました。

成果

- 日英2カ国語表記のパンフレットや案内板を製作したことで、その歴史的価値を国内外に情報発信ができる体制を整えました。
- ピザづくり体験イベントには地域の若者が参加され、利用者のターゲット層が広がりました。

現在の活動と今後の展望

- 令和4年（2022年）1月に法人格を取得し、月に数回のカフェ営業や企画（町屋探訪ツアーやヨガ教室）を行うとともに、商店街を巻き込んだイベント（小川蚤の市やかかるかや市）を企画・運営しています。
- 現在、民間のレンタルスペースサイトで予約受付を行っていますが、自社のホームページを作成し、レンタルスペースとしてのさらなる利用促進を計画しています。

連携団体

- 地元の飲食店や整体院、ヨガスタジオなど
- 他小川商店街の商店や大型商業施設などの近隣施設

情報発信媒体

インスタグラム (@shioya_ogawa)



小川町商店街



「風の館塩屋」全景



「風の館塩屋」内部



作成したパネル

【地域の概要】 宇城市小川町（人口）12,515人（世帯数）5,275世帯 [住民基本台帳 2023.12 現在]
【組織の概要】 小川まちかど編集部 会長：大池 早代 会員数：5名 活動拠点：風の館塩屋

事業企画・展開のポイント

ローカルを楽しむ

メンバーや地元の方、イベントに参加して下さった方が楽しむことができる企画を考えます。中でもイベントについては、地元向けや若者向け、県内外の幅広い層など、ターゲットや内容を変えて実施しています。



かるかや市



ピザづくり体験

組織運営のポイント

しっかり話し合う

現在3人で「風の館塩屋」を運営していますが、それぞれの経験が異なるので、考え方や視点も異なります。意見に食い違いがあれば、それを共有して議論し、3人が納得した状態で進めていくことが大切だと思っています。



町屋カフェ



小川蚤の市

他の団体と連携ポイント

共感の和を広げる

地域の活性化や法人の利益よりも、「自分たちがどれだけ楽しめるか」を大事にしています。また、私たちの空気感に共感してもらえる方と連携していきたいと考えています。



地域の仲間たち



ヨガイベント